

## しのばず自然観察会より 2023-12 2023.11.29

### 2023年12月の活動 その1 不忍池 定点観察 12月10日(日)



**集合:** 午前10時 不忍池 蓮池南西端  
緑の小旗あり (野外ステージ西側、湯島天神下交差点寄り)

今回は雨天中止

**持物:** 筆記用具、双眼鏡、飲み物、雨具  
(マスク、敷物、昼食)

解散は午後1時頃ボート池畔または藤棚

参加費不要 非会員の参加も歓迎

水鳥調査の予行練習をしたい方もどうぞ

### 2023年12月の活動 その2

#### 不忍池 水鳥個体数調査 12月24日(日)

**集合:** 午前9時 不忍池 弁天堂脇 藤棚休憩所

\*雨天実施

**持物:** 筆記用具、双眼鏡、飲み物、雨具、必要に応じて計数器、マスク、敷物、昼食

**解散:** 午後1時頃上野動物園西園テラス  
調査分担を決めて、9時30分に調査開始です。

参加費不要 動物園入園料は各自たてかえ、  
昼に会から支払います。



### 2023年11月の活動 2023年11月12日(日)の不忍池

11月12日は曇り時々雨で肌寒いという微妙な天気予報でしたが、5名が参加しました。蓮池は相変わらず蓮の葉に覆われて、水鳥の気配が感じられません。わずかにオオバンが動いたのみ。小雨模様の中で、カワウが巣材の枝を木から切り取る作業を熱心していました。

ボート池に集まったカモたちのうち、キンクロハジロはまだ雄・雌の区別が難しい、個体が目立ちました。オナガガモにも同様な個体がいいましたが、首筋に薄く白い部分があって、雄だとわかりました。

確認した鳥:キンクロハジロ、オナガガモ、マガモ、カイツブリ、オオバン、カワウ、アオサギ、コサギ、カワセミ、ユリカモメ、ドバト、スズメ、シジュウカラ、ムクドリ、ヒヨドリ  
花:キク(菊)、キョウチクトウ(うす桃色、紅色)、セイタカアワダチソウ、カンナ、ユッカ(アツバキミガヨラン?)、サザンカ、雑種タンポポ

## 2023年11月12日の不忍池定点観察から 小川千恵子

11月12日小雨模様の日。

9:25頃。いつものバス停からボート池北側へ。張り出した浮き橋から東の方を見る。オナガガモ雌5、雄6、キンクロハジロ83、オオバン8、ユリカモメ38、ドバト27。泳いだり、丸くなって眠っていたり。キンクロハジロは一群が一斉にボート池中央に泳いで行く。

ハンノキの北に水仙の葉が見える。あの長い逞しい感じのメヒシバ、オヒシバは池周辺ではどこにも見られず、幅5mm、長さ10~15cmの細長い草が、一帯に見られる。茶色や赤のサクラの葉、黄色いイチヨウの葉が草の上を覆う。歩道の端に茶色の枯れ葉が吹き寄せられている。池の中の鉢にセイタカアワダチソウが咲く。

1cm位の丸っぽい葉、チドメグサではないらしい。何だろう?と毎回見ている。トリモニュメントの南のカンザン2本目の下にも似ているが葉の形が少し違う丸っぽい葉がある。これも何か?ボート池西側から見ると、蓮池とボート池の間の道の桜並木の葉は少し赤っぽい茶色に見える。あとで蓮池の東側から見ると赤味が増して見える。光の加減か?

タチアオイは2個所に2本、1本とあり、長さは30cm位、葉の大きさは15~20cm。タンポポの蕾、発見。

### 集合地から

黄色のカンナはまだ咲いている。菊はピンクの花が咲き始めた。

野外音楽ステージ横にピンクの八重のサザンカが咲き始めている。ステージ北から、弁天堂西の樹立へアオサギが飛ぶ。ハゼの葉は赤くなり始めている。ステージ東で、管理事務所の4人の方に出会う。コサギを発見。もう1羽発見。別のところから1羽飛ぶ。また別の1羽飛ぶ。結局コサギ4。

下町風俗資料館はすっぽりと囲いの中。修理?資料館北側のアキニレ、ケヤキの紅葉が始まった。

弁天堂参道入口を入った右の動物園池を見ていて、潔が「こんな天気の際はカワセミもじっとしているんでしょうかねえ」と言ったちょうどその時に、東から西の枯蓮の中へ「ピーッ!」と声をあげてカワセミが飛んだ。聞こえたの?

参道に十月桜3本の内、1本は小さなピンクの花を咲かせ、あと2本は枝先にほんの少し咲き始めていた。

大藤棚の東端の桜の木は結局2本共切られた。ジュズダマも刈られた。ユッカの花が咲き始

めた。柿の実はおранже色に変わってきた。柿の木の隣のカヤの木にシジュウカラ。

弁天堂西出口手前で動物園の方を見ると、カワウが枝を運んでいるのが見える。

落羽松は、丸い実がつき、葉は黄緑色に変わりつつある。落羽松の下にはオンシロイバナの葉の一群が、地上を這うように広がる。

キョウチクトウは枝の先っぽに濃いピンクの花が少し残り、ヒヨドリが花をついばむ。下の植え込みにピンクの小花。

ボート池北側から池を見る。ハシヒロガモ雌1、マガモ雌1と雄1。オナガガモが陸に上がって草を食べている。カイツブリは色の濃い大人1、色の薄い子ども2、オオバン、キンクロハジロ、ユリカモメ多数。

ヒメオドリコソウ、ウラジロチチコグサ？

ユッカの花が見ごろ ↗



## 東京湾の谷津干潟へ行ってきました！ 小川千恵子

11月19日(日)快晴。無風。ウン十年振りに習志野市にある谷津干潟へ。

ダイサギ20、オオバン 32、アオサギ5、冠毛がはっきり見えるコサギ1、カルガモ2が迎えてくれた。アオサギが細長い魚を捕らえて飲みこむのが見られた。ダイサギの中で特に大きい「ダイダイサギ」がいて、朝鮮半島の方から渡って来るらしい。脚のつけ根がピンクであるらしいが、私はそのピンクを確認できなかった。

2011. 3. 11の地震で谷津干潟の北西部が沈下して、干潟が出なくなり、そこにカモ類が集まるようになったとのことで、スズガモ、ホシハジロ、カンムリカイツブリ2、オカヨシガモ、オオバン、カイツブリが見られた。三番瀬では何万ものスズガモが見られるが遠い。今回は望遠鏡で個体をゆっくり見られた。オカヨシガモ、オオバン、ホシハジロはまとまっていて、オオバンが潜って草を採って水面に上がると、他のカモが横取りする様子が見られる。

頭が真白な富士山の上部分が、京葉線の高架の上にくっきりと大きく見られた。

12月3日(日)三番瀬、17日(日)谷津干潟へ行くつもりです。千葉県野鳥の会の活動に参加します。雨の時は行きません。行ってみようかなと思った方はTEL連絡下さい。

三番瀬では多数のスズガモ、ミヤコドリ、ウミネコ、ハマシギ、カワウ、シギ類、チドリ類、カモ類の他に海の小さな生き物が見られます。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方  
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL:<http://sinobazu.extrem.ne.jp>  
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000 円

\*\*\*2022年以前の会費未納の方もお忘れなく！退会の場合は早めに葉書で事務局へ\*\*\*